

新しい年を迎えてご挨拶 中西 知

新年あけましておめでとうございます。  
皆様方にとって、本年が平穩で健やかな  
年になるよう心からお祈り申し上げます。  
昨年も弊保存会の各種事業にご理解と  
多大なるご支援をいただき、誠にありがと  
うございました。本年も昨年同様、皆様方  
の変わらぬご協力をよろしくお願い申し上  
げます。

小春日和に恵まれて

今井小学校創立一五〇周年記念祭

12月6日(土)、今井小学校(浦西礼美  
校長)で、創立一五〇周年記念祭が終日盛  
大に開催されました。

今井小学校は、明治7年(1874)に西  
光寺に創立され、明治27年(1894)に  
現在地に新築移転し、現在の校舎は昭和  
47年(1972)に建設されたものです。

今年は一五一周年目に当たりますが、今  
井小学校創立一五〇周年記念事業実行委  
員会(山尾忠信委員長)を組織して、「つな



今井小学校北東横幕



体育館の今井こども太鼓

桓原市今井町3丁目の市立今井小学校で6日、創立150周年記念祭(創立150周年記念事業実行委員会主催)が開かれた。在校生や卒業生、保護者、地域住民らが多数訪れ、節目を盛大に祝った。

檀原市立今井小学校  
創立150周年



# 記念祭で節目祝う

12月7日付奈良新聞に掲載

ぐ、歴史と共に次世代へ」のテーマの下、各種事業を企画し、広く協賛金を集めて本日の記念すべき日を迎えました。

記念式典は、午前9時から体育館において、厳粛に執り行われました。

同小校。創立は、つ  
年を迎えた。記念祭は、つ  
なで、歴史をたどる時代代  
り」をテーマに開催。午前  
中には在校と保護者等対象対  
談「記憶の典や在校生活とい  
う発表がある、午後からは一  
般の人にも対応したイベント  
が実施された。

市立大蔵中学校吹奏楽部  
や井田など太鼓の演奏。  
その後も日キッチナの出店  
も、同出身のシンガポ  
ワングラッパがわねし  
たり、会場多々の会には  
ふらふらのラブダンス  
あり、会場多々の会には  
きだった。フィナーレに納  
5分間、曲を合わせ、花火  
が打った。

同実行委員会の山本忠信  
委員長は、「次世代に繋ぎた  
ちの想いを、なげいていき  
たい」と話した。

クワックパを鳴して後  
座に始まった。その後  
7月6日（土）橋原  
小学校の市立大蔵中

午前10時から、体育館のステージ上で各学年ごとに学習発表会が行われました。午後は体育館内で、大成中学校吹奏楽部の演奏を皮切りに、今井子ども太鼓等の催し物が続き、最後は、今井小学校の校歌の大合唱で終わりました。

一方校庭では、快晴の下で、スピーカーから体育館の催し物の音が流れる中、キッチンカーが10台以上に加えて、簡易テントの出店と、それに伴う飲食休憩のテント群、子ども縁日のゲームコーナーなど「多彩な飲食とゲーム」が楽しめるように設営されていて、大勢の親子連れで大賑わいでした。

初冬の日暮れは早く、17時には校庭も暗闇に包まれました。そしていよいよ最後の締めくくりとなる花火が、校庭で打ち上げられると花火を楽しみに待っていた参加者の歓声も一緒に校庭に響きわたり長い一日のイベントが終了しました。



快晴の下、多彩な飲食とゲームを楽しむ様子

## 全国町並みゼミ台北大会報告

(つづき)

第一日目午後の各地からの報告は10人が登壇しました。内訳は日本(3)、マレーシア(1)、タイ(1)、香港(1)、台湾(4)と国際色豊かでした。そのうち日本関係の要約は次の通りです。

## 1. 妻籠宿・町並み保存の原点

住民が自主的に「妻籠愛友会」を結成し、「売らない」「貸さない」「壊さない」の3原則を守ることを誓約して、保存・環境整備に取り組み、200棟以上の建物が修復・再建されています。

## 2. 小樽運河保存運動から小樽のまちづくりの52年間

「小樽運河を守る会」の発足により、運河の保存だけではなく住民の暮らしの再建にも取り組み、現在小樽市内は「歴史的景観地区」「重要眺望景観地区」「港湾景観形成地区」に分けて市内全体の歴史的・自然的景観を保全しています。

## 3. 伊勢河崎・町並み保全型まちづくり

伊勢河崎は、かつて「伊勢の台所」といわれた勢田川の水運を利用した商業物流で繁盛した町です。

現在は、残る蔵など地域の特色を生かして、歴史的建造物に宿泊できる「NIPPON I A伊勢河崎商人町」を展開しています。

## 参加者からの報告①

若林 稔

台湾のすごいパワーをしっかりと見せてもらい、大変な歓待をしてもらいました。

特に会場に選んでくださった日本統治時代の遺物は、今も受け継ぎながら歴史遺産だけでなく、活気ある商いの取組をしっかりと見せてもらえ、若者世代が町中で活気に満ちた活躍をしておられるのが印象的でした。

そして町には若者がたくさん活動の場を支えているのを見て、少子高齢化社会を憂いている日本との差異を痛感しましたが、町中の風景を彩る看板や書き物が旧来の漢字で書いてあるので、案外意味が分かりやすかったし、書道好きの私には見どころ一杯でした。

大会はAIを多用した同時通訳をうまくこなして構成していました。マイクの台湾語が大きすぎて、イヤホンから入ってくる日本語が聞き取りにくいのが欠点で、席を離れてトイレに入った時の方がよく聞けるといふ現象に苦笑しました。

しかし日本の大学に留学していた人が、いつもそばにいてくれていいアドバイスを頂きました。

町づくりは人づくり、町の保存は建物や地域も大事ですが、そこで接する人と人との交流の在り方が一番大切なことだということを確認しました。

## 参加者からの報告②

大西 由起

台北の各大学の学生さんもたくさん参加されていて、ゼミの企画・運営・発表とまち歩きガイド案内もとても親切にして頂き若い力を感じました。

今現在、歴史的な集落・町並み・自然景観が多く保存されていますが、すべてが順調にきたのではなく、それまでには住民の反対・反発様々な問題があり、それを乗り越えて協力・共感・自立自治・持続保存へと繋がっているのだと思いました。

これから政府・民間・専門家の知識を入れて、若い力・世代を超えて学び歴史的価値に気付く、地域の歴史文化を学び返す事が大事だと思います。状況は違えど、どの国もみんな自国を愛し、誇りに思っているんだと感じました。まさにふる里を守り越境しながらつながる学び、テーマ通りの海外ゼミに参加させていただき、感謝申し上げます。

## 年末年始休館のお知らせ

12月25日～1月5日 休館

今井まちや館 重文旧米谷家

今井景観支援センター

## 町内の年始の行事

12月31日11時～元旦1時 春日神社 初詣 歳旦祭  
 1月8日(木)えびす祭 春日神社 10時～15時  
 1月14日(水)大とんど 春日神社 13時～16時